

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前労働運動 を前進させよう！</p> <p>J R 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 静岡市葵区黒金町 68 NTT 054-284-3608 FAX 054-284-6365 発行責任者 半場 弘恭 2023年3月8日 No. 33</p>
---	--------------------	-----------	--

高速長尺先進ボーリングは直ちに中止せよ！

静岡県リニア工事差止訴訟第9回口頭弁論

静岡リニア差止訴訟第9回口頭弁論が3月3日、静岡地裁で開廷されました。傍聴券の取り組み、傍聴、報告集会にOBも含めて参加しました。

原告側からは、高山植物の保全のため20年に渡ってボランティア活動している方が意見陳述を行いました。陳述で、大井川の水をめぐる歴史と流域住民のための水の確保について、残土処理による土砂崩壊と有害物質の大井川への流入の懸念、高速長尺先進ボーリングの問題などを訴えました。

そして、原告代理人弁護士は、J R 東海が県との合意を得ないまま高速長尺先進ボーリングの削孔を強行したことに対して抗議し、削孔中止を訴えました。

報告集会では、土木学会が発行した資料をもとに、① J R 東海が行っている高速長尺先進ボーリングは水抜きが目的であること（調査目的ではないこと）、②万が一、地盤・岩盤などが原因となるトラブルが発生した場合、機械の撤去も削坑した箇所の穴埋めもできないことなどが説明会されました。



第10回口頭弁論は6月9日、第11回口頭弁論は9月8日に開廷されます。

【解説】『より良い山岳トンネルの事前調査・事前設計に向けて（土木学会）』より

①ボーリング調査は、コア採取を目的としたコアボーリングと、そうでないノンコアボーリングの2種類に分類されます。高速長尺先進ボーリングは後者に該当します。

②脆弱地質で締め付け現象が発生した場合に事故に至る危険性があります。多量湧水や高圧湧水では、インナーチューブの引き抜き・挿入が困難になります。

